

大都市高齢者基盤研究テーマ 2020年度 業績リスト (論文・学会発表・著書)

★コレスポンディングオーサー(責任著者)、◎ファーストオーサー(第一著者)
二重下線=常勤研究員、下線=非常勤職員、破線=研究生、連携大学院生等
波線=学振特別研究員

<令和2年度>

1 論文(誌上発表) : 原著

- ① 著者名、論文名、誌名、巻(号)、最初と最後の頁、発表年、(査読)、(IF値)
 1. ★◎Murayama Y, Yamazaki S, Yamaguchi J, Hasebe M, Fujiwara Y: Chronic stressors, stress coping, and depressive tendencies among the elderly. *Geriatrics & Gerontology International*, 20(4), 297-303, 2020. (査読あり) (IF: 2.022, 2019)
 2. Mitsutake S, Koike T, Ishizaki T, Sakurai R, Yasunaga M, Nishi M, Fukaya T, Kobayashi E, Suzuki H, Nonaka K, Saito M, Hasebe M, Murayama Y, Fujiwara Y: Influence of co-existing social isolation and homebound status on medical care utilization and expenditure among older adults in Japan. *Archives of Gerontology & Geriatrics*, 93:104286, 2021. (Available online 22 October 2020) (査読あり) (IF:2.128, 2019)
 3. Murayama H, Kobayashi E, Okamoto S, Fukaya T, Ishizaki T, Liang J, Shinkai S: National prevalence of frailty in the older Japanese population: Findings from a nationally representative survey. *Archives of Gerontology & Geriatrics*, 91:104220, 2020. (査読あり) (IF: 2.128, 2019)
 4. Murayama H, Liang J, Shaw BA, Botosaneanu A, Kobayashi E, Fukaya T, Shinkai S: Socioeconomic differences in trajectories of functional capacity among older Japanese: A 25-year longitudinal study. *Journal of the American Medical Directors Association*, 21(6), 734-739.e1, 2020. (査読あり) (IF: 4.367, 2019)
 5. Murayama H, Liang J, Shaw BA, Botosaneanu A, Kobayashi E, Fukaya T, Shinkai S: Age and gender differences in the association between body mass index and all-cause mortality among older Japanese. *Ethnicity & Health*, 25(6), 874-887, 2020. (査読あり) (IF: 2.554, 2019)
 6. Nemoto Y, Takahashi T, Nonaka K, Hasebe M, Koike T, Minami U, Murayama H, Matsunaga H, Kobayashi E, Fujiwara Y: Working for only financial reasons attenuates health effects of working beyond retirement age: A 2-year longitudinal study. *Geriatrics & Gerontology International*. 20: 745-751, 2020. (査読あり) (IF: 2.022, 2019).
 7. 村山幸子, 倉岡正高, 野中久美子, 田中元基, 根本裕太, 安永正史, 小林江里香, 村山洋史, 藤原佳典: 児童・生徒のあいさつ行動と地域愛着および援助行動との関連. 日本公衆衛生雑誌, 67(7), 452-460, 2020.
 8. 深谷太郎, 小林江里香: 高齢者の ICT 利用状況の変化要因について—縦断調査データを用いて. 厚生指標, 67(7), 2-8, 2020. (査読なし)
 9. Tanaka T, ★Okamoto S: Increase in suicide following an initial decline during the COVID-19 pandemic in Japan. *Nature Human Behaviour*, 2021; 5, 229-238 (査読あり) (IF:12.282, 2019)

10. ★◎村山陽, 山崎幸子, 長谷部雅美, 高橋知也, 山口淳, 小林江里香: 中高年単身者における電子メールや Social Networking Service (SNS) を介した多世代関係と孤立感との関連. 日本世代間交流学会誌, 2021, 10(1), 3-14. (査読あり)

2 論文 (誌上発表) : 総説

- ① 著者名、論文名、誌名、巻 (号)、最初と最後の頁、発表年、(査読)、(I F 値)

3 学会発表 (国際)

- ① 発表者名、発表タイトル、学会名、開催地、開催日

1. Fujiwara Y, Nonaka K, Kuraoka M, Murayama S, Nemoto Y, Murayama H, Murayama Y, Kobayashi E: The impact of taking care of grandchildren on health outcomes in Japanese community-dwelling elderly. The 2020 Annual Scientific Meeting of Gerontological Society of America (GSA), Online, 2020.11.4-7.
2. Murayama H, Liang J, Shaw BA, Botoseneanu A, Kobayashi E, Fukaya T, Shinkai S: Weight change and all-cause mortality in later life: Findings from the National Survey of the Japanese Elderly. The 2020 Annual Scientific Meeting of Gerontological Society of America (GSA), Online, 2020.11. 4-7.
3. Murayama S, Kobayashi E, Kuraoka M, Nonaka K, Tanaka M, Nemoto Y, Murayama H, Fujiwara Y: Generativity among Japanese elderly: Its association with demographic characteristics and health indicators. The 2020 Annual Scientific Meeting of Gerontological Society of America (GSA), Online, 2020.11. 4-7.

4 学会発表 (国内)

- ① 発表者名、発表タイトル、学会名、開催地、開催日

1. 小林江里香, 原田謙, 斎藤民: 仕事の特性と地域活動への参加—大都市の中高年就労者の分析から. 日本老年社会科学会第 62 回大会, 札幌 (誌上開催), 2020.6.6-7.
2. 村山陽, 山崎幸子, 長谷部雅美, 高橋知也, 小林江里香: 単身男性高齢者の孤立と貧困に至るプロセスと援助要請の検討: ライフコースの視点から. 日本老年社会科学会第 62 回大会, 札幌 (誌上開催), 2020.6.6-7.
3. 岡本翔平, 小林江里香, 村山洋史, 深谷太郎, 菅原育子, 新開省二: 退職による主観的幸福感の変化: JAHEAD 男性サンプルにおける分析. 日本老年社会科学会第 62 回大会. 札幌 (誌上開催), 2020.6.6-7.
4. 深谷太郎, 小林江里香: 公共交通利用弱者の身体能力の変化—12 年間の縦断調査を用いて. 日本老年社会科学会第 62 回大会, 誌上発表, 2020.6.6-7.
5. 村山幸子, 野中久美子, 倉岡正高, 根本裕太, 村山陽, 高橋知也, 小林江里香, 藤原佳典: 要支援高齢者の被援助志向性を規定する要因. 日本老年社会科学会第 62 回大会, 札幌 (誌上開催), 2020.6.6-7.
6. 斎藤民, 原田謙, 小林江里香: 大都市中高年者における住居形態と座位時間との関連. 日本老年社会科学会第 62 回大会, 札幌 (誌上開催), 2020.6.6-7.
7. 小川将, 鈴木宏幸, 高橋知也, 佐藤研一郎, 村山陽, 松永博子, 藤田幸司, 本橋豊, 藤原佳典: 「SOS の出し方に関する教育プログラム」についての実践—対照群を用いた短期効果の検討—. 日本老年社会科学会第 62 回大会. 札幌 (誌上開催), 2020.6.6-7.

8. 村山陽, 山崎幸子, 長谷部雅美, 高橋知也, 小林江里香: 生活困窮状態にある単身男性高齢者における被援助志向性の特徴. 日本心理学会第84回大会, オンライン, 2020.9.8-11.2.
9. 山崎幸子, 村山陽, 長谷部雅美, 高橋知也, 小林江里香: 単身高齢者の孤独に関する表現の性差. 日本心理学会第84回大会, オンライン, 2020.9.8-11.2.
10. 田中孝直, 岡本翔平: Suicide during the COVID-19 pandemic in Japan. 第23回労働経済学カンファレンス, オンライン, 2020.10.9.
11. 隅田和人, 岡本翔平, 上村一樹, 白石憲一: Daily steps and healthcare costs in Japanese communities: Causal inference. 日本経済学会2020年度秋季大会, オンライン, 2020.10.10-11.
12. 村山陽: ICT利用を通じた多世代コミュニケーションが中高年者の孤立感に及ぼす影響. 日本世代間交流学会第11回全国大会, 誌上发表, 2020.10.17.
13. 小林江里香, 村山陽, 山崎幸子, 高橋知也: 都市部の中高年者における近所づきあいとその契機—性別、居住形態、婚姻状況別特徴. 第79回日本公衆衛生学会総会, オンライン, 2020.10.20-22.
14. 藤原佳典, 野中久美子, 倉岡正高, 根本裕太, 村山陽, 村山幸子, 村山洋史, 桜井良太, 渡辺修一郎, 小林江里香: 世代別にみた対面・非対面交流が心身の健康の低下ならびに改善に及ぼす影響. 第79回日本公衆衛生学会総会, オンライン, 2020.10.20-22.
15. 村山陽, 山崎幸子, 長谷部雅美, 高橋知也, 小林江里香: 単身男性中高年者における将来の生活に対する意識の特性. 第79回日本公衆衛生学会総会, オンライン, 2020.10.20-22.
16. 高橋知也, 村山陽, 山崎幸子, 長谷部雅美, 小林江里香: 「周囲からの主観的な孤立感尺度」の作成と主観的健康感との関連の検討. 第79回日本公衆衛生学会総会, オンライン, 2020.10.20-22.
17. 渡邊彩, 桜井良太, 長谷部雅美, 西真理子, 村山陽, 成田美紀, 根本裕太, 松永博子, 藤原佳典: 高齢期の社会的孤立と生活不安・主観的健康観の関連—就労状況に着目した検討. 第79回日本公衆衛生学会総会, オンライン, 2020.10.20-22.
18. 清水佐紀, 村山陽, 長谷部雅美, 山口淳, 小野寺敦志: ペットの飼育が高齢者の慢性型ストレスナーに与える影響. 第3回日本老年臨床心理学会, オンライン, 2021.3.20-21.

5 著書等

1. 村山陽・藤原佳典: 第4章. 介入研究, 『ソーシャル・キャピタルと健康・福祉』近藤克則(編著), pp.63-88, ミネルヴァ書房, 2020年4月.
2. Tanaka T, Okamoto S: Suicide during the COVID-19 pandemic in Japan. medRxiv, 2020. doi: <https://doi.org/10.1101/2020.08.30.20184168>
3. 小林江里香: 科学研究費助成事業 研究成果報告書(研究種目: 基盤研究(B)(一般)、研究期間: 2017~2019、課題番号: 17H02619、課題名: 高齢期における就労、地域、家庭内活動のバランスとコンフリクト), 2020年6月
4. 村山陽: 地域の世代間援助における互惠性に関する研究—都市部における世代間援助は、どのように持続しうるのか. 公益財団法人SOMPO福祉財団(編)「2018年度ジェロントロジー研究報告 No.14」2020年10月
5. 村山陽: 第6章 1. 事業・活動の評価、2. 事業・活動の効果・現状・状態を確認する①, 『保健福祉職のための「まち」の健康づくり入門』(倉岡正高・石川貴美子編著), ミネルヴァ書房. pp.193-202, 2021年3月.

6. 東京都健康長寿医療センター研究所 東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター・社会参加と地域保健研究チーム：「自主グループ活動に関するアンケート」報告書. 2021年1月 ※小林江里香が執筆に参加
7. 東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム：訪問調査における「体力・身体測定」－資料集と測定の手引き－. 2021年3月

6 受賞

1. 村山陽, 山崎 幸子, 長谷部 雅美, 高橋 知也, 小林江里香 日本心理学会第84回大会「学術大会特別優秀発表賞」「生活困窮状態にある単身男性高齢者における被援助志向性の特徴」2020. 10. 23
2. 原田謙、小林江里香、深谷太郎、村山陽、高橋知也、藤原佳典 2020年度日本老年社会科学会「優秀論文賞」 高齢者の若年者に対する否定的態度に関連する要因－世代間関係における「もうひとつのエイジズム」(老年社会科学, 41(1), 2019) 2020. 8. 20